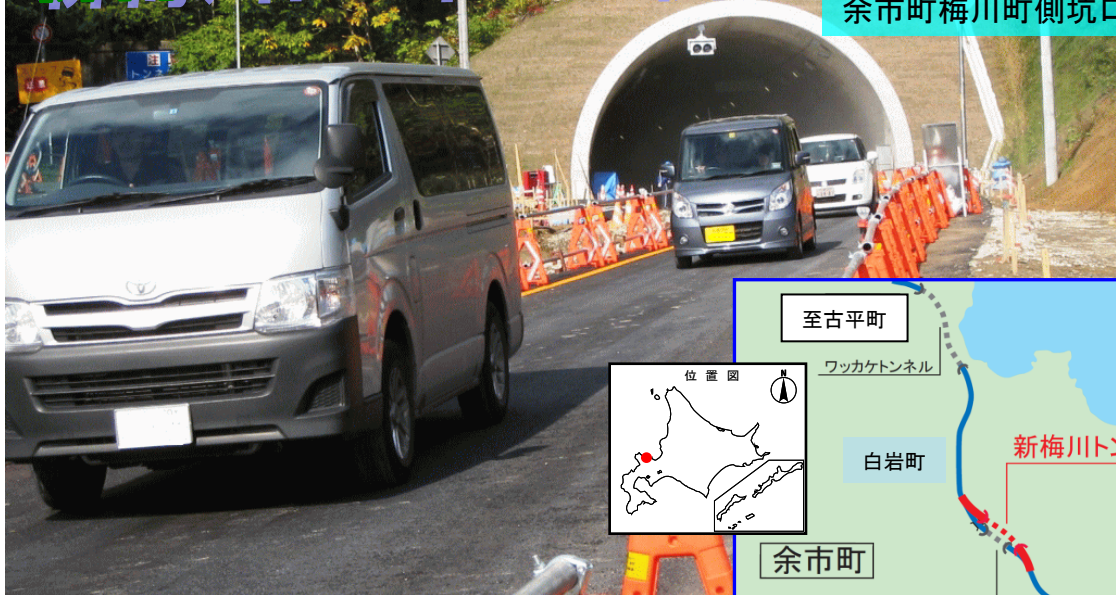


一般国道229号 新梅川トンネルが開通

道路の安全な
通行を確保



余市町梅川町側坑口



10月15日(月)、一般国道229号梅川トンネルが新ルートに切り替わりました。
小樽開発建設部では、余市町から共和町を結ぶ路線の通行規制・支障区間及び、危険箇所の解消を図り、道路の安全な通行確保を目的とした「一般国道229号積丹防災事業」を進めています。

現梅川トンネルは、幅員が狭く大型車同士のすれ違いが困難であり、ひび割れや漏水などの老朽化が進行するなどの課題を抱えていたことから、新ルートによる早期整備が進められていましたが、この度、これらの課題を解消する新たな梅川トンネル(長さ372m)が開通したものです。

このトンネルの開通により、大型車同士のすれ違いができず、トンネル前で対向車通過を待つといった状況はなくなります。

なお、積丹防災事業は道路の安全な通行確保を目的として、引き続き工事を進めていきます。



余市町白岩町側坑口



幅員が広くなり、歩道も整備されました

12月下旬までは、現ルートと新ルートのすり付け工事のため、引き続き通行規制を伴う工事が行われます。
工事中、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。